

# JA自己改革

～実はSDGs～



©みんなのよい食プロジェクト



1 母委員会生産者が新規就農研修受入農家を務め就農支援(写真は新規就農希望者の現地見学会)  
2 出荷作業を担うパッケージセンター 3 営農アドバイザーや専門家が時期ごとに栽培講習会

## 生産者とJAが一丸で 高品質・高単価を実現

伊豆の国母委員会は令和4年2月、JA全中・NHK主催の第51回日本農業賞・集団組織の部大賞を受賞しました。

生産者とJAが一丸となって高品質なイチゴを安定供給し、高単価での共販を実現していることなどが高く評価されました。高品質化に向けて、委員会役員による生産者のほ場・パック詰め作業場の巡回指導やJA集出荷場で検査員による全パック検査などを行い、厳格な品質管理を徹底。これらにより、令和2年産の秀品率は99.5%を誇り、高品質なイチゴとして市場で評価され高単価を実現しています。

平成17年にはJAパッケージセンターを開設。生産者のバック詰め作業の労力軽減と市場や取引先の多様なニーズに対応し販路拡大や有利販売を可能に。現在は約70人がパート勤務し、地域の雇用創出にもつながっています。

伊豆の国母委員会の飯田寿夫委員長は「当産地には助け合い精神が根付き、組織としての団結力の強さも高く評価されました。結束力をより強固にし、JAと連携してより一層の発展を目指したい」と力強く語ります。



※SDGsとは「持続可能な開発目標」という意味で、国際目標として国連で採択。17の目標を設定しています。

# 健康百科

## 夏の健康の味方

保健師の井上です。心身にちよつとく話を皆さまにお届けしていきます。初めましての人も、お久しぶりの人もよろしくお願ひします。

野菜に含まれるたんぱく質やビタミンの吸収を助けてくれます。梅干しに含まれるクエン酸は疲労回復に役立ちます。そして夏野菜、トマトやキュウリなどに含まれるカリウムは、体内の塩分量を調整してくれます。さらにトマトは「ピューレ」などに加工すると、抗酸化作用のあるリコピンを効果的にとることが出来ます。夏野菜は健康の味方です。1日3食、これらを食事ですっかりとれば、あえて何かを追加でとる必要はなさそうです。

健康な大人の1日の目標塩分摂取量は男性7.5g、女性6.5g未満ですが、多くの人はそれ以上に塩分をとっています。塩あめやスポーツ飲料は糖も含まれているので、とりすぎは高血圧や糖尿病の原因になります。

そこで、夏こそみそ汁や漬物といった日本に昔からある発酵食品がお勧めです。みそや漬物は大豆や



静岡県農業団体健康保険組合  
保健指導担当課長・保健師  
井上 朋子さん

## あれこれ 相談室

[年金編]



伊豆の国地区金融課  
山田 友里恵

Q 62歳から厚生年金を受給中ですが、何か手続きは必要ですか？

A 「日本年金機構から送られてくるハガキ形式の「年金請求書」を提出する必要があります。」

特別支給の老齢厚生年金(60歳代前半の老齢厚生年金)を受給中の方は、65歳になると今まで受給していた年金に変わり、新たに「老齢厚生年金」と「老齢基礎年金(国民年金)」を受け取るようになります。

65歳になる誕生月の初めに、日本年金機構からハガキ形式の「年金請求書」が送られてきます。65歳からの老齢厚生年金と老齢基礎年金を受け取るには、このハガキを提出しないと年金の支払いが一時保留されてしまいますので、誕生月の末日までに必ず提出しましょう。

65歳時の年金請求書には、繰下げ希望欄があります。繰下げ受給とは、65歳からの年金を受給せずに66歳以降の年金を受給することです。

繰下げ受給には、①老齢基礎年金のみ繰下げ②老齢厚生年金のみ繰下げ③老齢基礎年金・老齢厚生年金の両方を繰下げ、という3パターンがあります。

共済組合や遺族年金などの他制度の年金を受給中の方の注意点は、65歳以降の年金額については、JA各支店や各地区の年金相談会などでお気軽にご相談ください。